

# 出資団体台帳

出資団体名	<b>8.飛岳観光株式会社</b>
-------	-------------------

所管課	観光課
-----	-----

## 1. 出資団体概要 (令和7年4月1日現在)

①法人分類	株式会社 ( )		
②業務分類	観光・レジャー ( )		
③主な活動範囲	市内規模 ( )		
④所在地	高山市花岡町1丁目15番地		
⑤設立年月日	昭和43年11月18日		
⑥従業員数	役員	(常勤) 3人	(非常勤)
	正社員	(常勤)	(内出向)
⑦役員等	役職名	氏名	市所属・職位
	代表者		
	役員		
⑧資本金 20,000 千円			
	出資者	資産種別	出資額 出資割合
	高山市	有価証券	500千円 2.5%
	他自治体		0.0%
	その他	有価証券	19,500千円 97.5%
	【備考】		

⑨設立目的			
定款に掲げる主な事業内容		現在の実施の有無	
索道事業		未実施	理由 ( リフトを譲渡したため )
食堂の経営		未実施	理由 ( 会社創設時の定款のまま )
温泉の掘削業		未実施	理由 ( 会社創設時の定款のまま )
旅館、ホテル、ドライブインの経営		未実施	理由 ( 会社創設時の定款のまま )
鍾乳洞の観光		未実施	理由 ( 会社創設時の定款のまま )
公衆浴場の経営		実施	理由 ( )
不動産の売買、賃貸及び管理業		未実施	理由 ( 会社創設時の定款のまま )
			理由 ( )
			理由 ( )
			理由 ( )
⑩地域の関わり			
地域振興の観点で、日帰り温泉施設ひがくの湯の運営 (経営全般を他社へ委託) を行っている。			
⑪市民の関わり			
ひがくの湯は、市民に親しまれている。			
⑫経緯			
出資時の状況	昭和40年に大橋氏により発見された「飛驒大鍾乳洞」を同社が公開し、後に枝分かれ組織化された「飛驒大鍾乳洞観光株式会社」が鍾乳洞を運営。飛岳観光株式会社は、別事業のスキー場運営などを展開することとした。S45. 5. 30 旧丹生川村地域の観光産業の振興を目指し旧丹生川村が出資 1,000株 (500,000円) 取得		
その後の経緯	H17. 2. 1 市町村合併により市に1,000株 (500,000円) の出資を継承		

5. 課題等

項目		市所管課	団体
S W O T 分 析	内部分析	強み	・良質で豊富な温泉資源
		弱み	・地域の関わりが大きいため、外部の視点が少ない。
	外部分析	機会	・中部縦貫自動車道の延伸による客足の増加が見込まれる。
		脅威	・新型コロナや災害など予期せぬ事態が発生した際に来客数が減少する。
事業面 (必要性、公益性、採算性、収益性など)		・温泉施設のあり方を考えると公益性は極めて低い。	
財政面 (財務状況の現状や将来の見通しなど)		・財政基盤が非常に悪い。 ・借入過多であり金利負担が大きい。	
施設・設備 (所有する建物や設備等の状況など)		・保有施設の老朽化に伴い、設備投資費用の捻出が必要である。	
組織・人員体制 (役員や従業員等の状況など)		・同族関係者のみで役員が構成されている。	
公共施設等総合管理計画 (方針と今後の考え方)		—	
自由記載 (団体や事業の今後のあり方や果たすべき役割について)			